

住民と救急業務の架け橋になろう

猪名川救急アドバイザー募集

住民の皆さんに、救命講習などをより身近に、気軽に学んでいただくため、住民と救急業務の架け橋となる救急アドバイザーを募集します。

▼募集数

若干名

▼応募資格

- ①18歳以上で熱意のある人（看護師・救急救命士などの資格者優先）
- ②普通免許所持者（オートマチック車限定は不可）
- ▼主な仕事内容
- ・消防本部が実施する救命講習の指導補助

- ・救急フェアや健康福祉まつりなどイベント時の啓発
- ・集会などでの応急手当や講話（出前講座）
- ▼活動期間
- 平成21年5月18日～同22年3月31日
- ▼報酬日額
- 7290円（看護師1万1900円）
- （看護師1万1900円）
- ▼選考方法
- 書類審査後、5月7日に面接を実施
- ▼申込方法
- 消防本部・北出張所に備え付けの応募用紙（町ホームページからダウンロード可）に必要事項を記入し、4月30日までに消防本部に、郵送（〒66・0233 紫合字古

津側山4・10）またはFAX（766・8831）で提出

▼その他

採用決定後、事前研修を実施

問い合わせは、消防本部（766・0119）へ。

第4期介護保険料基準額を据え置きます

介護保険料は、3年ごとに策定する事業計画に基づき見直しています。

第4期（平成21～同23年度）の介護保険料は、基金として積立てた保険料の取り崩しや、介護報酬改定に

ともなう保険料の増加を軽減する目的で国から交付された介護従事者処遇改善臨時特例交付金の活用により、据え置くことになりました。今回の見直しにあわせ、新たな低所得者対策を

盛り込み、従前の第4段階（本人住民税非課税）の該当者のうち、課税年金収入額と合計所得金額の合計額が年80万円以下の人の保険料を、月額で500円軽減することにしました。

問い合わせは、健康課（766・8781）へ。

町職員の勤務時間（昼の休憩時間）変更のお知らせ

平成20年人事院勧告により、国家公務員の勤務時間が1日あたり7時間45分になったことにともない、町職員の勤務時間を4月1日から同様に改正しました。開庁時間はこれまでと変更ありませんが、昼の休憩時間が午後0時から午後1時までとなりました。なお、休憩時間内における証明などの窓口業務は、これまでどおり実施します。

問い合わせは、総務課（766-8708）へ。

イナホールメイトの募集

会員割引や座席の優先取得ができる、イナホールメイトを募集します。

継続加入者への特典が充実、またメイト価格での購入枚数が2枚から4枚に増えました。

ぜひ、お得なイナホールメイトに、ご加入ください。

- ▼特典
- ◎入場料金の割引
- 会員1人につき4枚までメイト価格で販売
- ◎座席指定の優先取得
- 座席指定がある公演は、販売開始2週間前から電話で4枚まで購入予約可
- ◎公演案内
- 各種事業の案内「ホールガイド」を郵送
- ▼自主事業の内容
- 下表の通り ※公演の日程・内容などは変更になる場合があります
- くわしくは、広報いながわまたは折込チラシなどでお知らせします。

平成21年度文化体育館自主事業（予定）

開催日	イベント名 ほか
5月2日	《文化協会合同事業》音楽で巡る日本の旅 北から南（出演＝松田淳一 吉田真理子 後藤敏子）
6月13日	ほたるの夕べコンサート（場所＝ふるさと館）
6月28日	青春のポップスザヒットパレード同窓会コンサート（出演＝三田明・園まり・佐川満男ほか）
7月26日	《文化協会合同事業》シャンソンをあなたに（出演＝ヤスコWild 高橋久恵 ピアノ米津美香）
9月6日	《文化協会合同事業》大切なあなたと刻む音楽の時間（出演＝阪本真由美ほか）
11月14日	まちの音楽家コンサート（出演＝野島玲奈 関西フィルハーモニー管弦楽団）
12月6日	よしもとお笑いバラエティショー
3月22日	でんじろう先生のサイエンスショー（出演＝米村でんじろう）
未 定	映画鑑賞会・スポーツフェスタ

申込み・問い合わせは、文化体育館（766-7400）へ。



自主心のある健全な青少年の育成を目的に活動を行っているボーイスカウト猪名川第1団。この団に所属する高校2年生の松井佑馬君と土橋祐介君が、最高位のスカウトに与えられる「富士章」を団で初めて受賞し、町長を表敬訪問しました。

町長 受章おめでとうございます。50年以上の歴史の中で、受章者は日本全国でもまだ1800人程度という取得の大変難しい章だと聞いています。

土橋 受章するには、さまざまな分野の技能取得に挑戦してその考査に合格するとともに、自分達の力でプロジェクトを企画・計画し、実行するという活動を、異なる3つの分野で遂行していかなければなりません。

町長 これまで活動する中で大変なこともいろいろあったでしょうね。

土橋 プロジェクトを遂行するため、六甲全山縦走大会で56kmを15時間かけ

感謝の気持ちを胸に

どのような活動を行っていきいたいですか。

松井 リーダーや隊長、保護者の方への恩返しに、団に関わり続けて後輩達を支えていきたいです。

土橋 ひとりでも多くの後輩が富士章をとれるよう手伝っていききたいです。

町長 新たな目標がしっかりできていくのですね。今後も後輩達の良いお手本となつてがんばってください。



慢性腎臓病と生活習慣病

井坂医院 井坂 拓医院長

慢性腎臓病（CKD）とは、尿に蛋白が下りるなどの腎臓に異常があるか、腎臓の働きが低下している透析予備軍のことで、20歳以上の日本人の約8人に1人がCKDだと言われており、新たな国民病として注目されています。

CKDは他の病気があると発病しやすく、高血圧・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病がもっとも大きな要因です。つまり、メタボリックシンドロームや生活習慣病の発生率が高い人ほどCKDにもなりやすいのです。生活習慣病がCKDを引き起こしたり、悪化させたりする

だけではなく、CKDも生活習慣病に悪影響を与え、お互いを悪くし合う悪循環が形成され、病状が進行していきます。

発病初期には何も自覚症状はありませんが、悪化するにつれ体内に毒素が貯まり、尿毒症の症状（むくみ・食欲低下・頭痛・貧血など）が現れ、末期腎不全になると血液透析や腎臓移植手術が必要となります。また、腎臓の動きが悪くなると、体内の水分が増えて血圧が上がり、動脈硬化を起こす物質が増え、心筋梗塞や脳卒中になる危険が高まります。一度失われた腎臓の機能の回復は極めて難しいですが、適切に治療を行えば進行をくい止めることができます。

CKDはまず、生活習慣を改善することが大切です。バランス良く、塩分を減らした適切な食事を心がけて食べ過ぎに注意し、有酸素運動を行い、適正な体重を維持することが大切です。また禁煙も大切です。

CKDは気がつかないうちに少しずつ進んでいきますので、定期的に健診を受けて、全身状態を把握することが重要です。